

社会資本総合整備計画 事後評価

賑わいのある中心市街地の再生と、歴史を感じるまちづくり

令和3年3月

長野県上田市

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	賑わいのある中心市街地の再生と、歴史を感じるまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	上田市												
計画の目標	<p>本市では、昭和50年代後半から昭和60年代にかけて、中心商店街があった百貨店等が、駐車場不足による客離れから撤退または郊外へ移転し、それ以来、中心商店街の衰退が顕著となっている。</p> <p>一方で中心市街地には、真田家が築城した上田城跡や旧街道沿いの古い街並み・近代化産業遺産などの文化の香り漂う歴史的資源も豊富に残されている。</p> <p>そこで、真田氏を活かしたまちづくりとともに、上田城跡を中心とする城下町としての景観の形成、各拠点施設を結び、周遊できる道路の整備を行い、安全・安心な中心市街地の構築を図る。</p> <p>また、民間の活力による優良建築物等への支援、学校施設の充実など、中心市街地の再構築を図り、行政・交通・商業・業務・居住等のさまざまな都市機能と居住機能が調和・集積された、市民に利便性が高く快適な都市空間の創出を図る。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	277	A	277	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26		H31末
1	中心市街地における歩行者通行量を21,530人/日(H26)から23,100人/日(H31末)へ増加 中心市街地における歩行者数を計測する。 上田市・上田商工会議所で行う通行量調査による	21530人/日	人/日	23100人/日
2	中心市街地の居住人口を7,171人(H26)から7,210人(H31末)へ増加 中心市街地の居住人口を計測する。 住民基本台帳から算出する	7171人	人	7210人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	上田市	直接	上田市	-	-	上田城下町地区(第三期) 都市再生整備計画	A=177ha	上田市						207	1.0	-	
												小計						207		
住環境整備事業	A16-002	住宅	一般	上田市	間接	穴吹興産株式会社	-	-	原町一番街地区優良建築物等整備事業	A=0.11ha	上田市						70		-	
												小計						70		
										合計							277			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 上田市 都市計画審議会	事後評価の実施時期 令和3年3月
	公表の方法 上田市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共サインの新設やリニューアルにより、中心市街地にアクセスしやすい道路案内施設の充実が図られるとともに、街なかの回遊性が向上した。 ・民間における市街地再開発の共同化住宅建設により、居住人口が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の無電柱化が一部進められたことにより、上田地域30分（サンマル）交通圏計画ルートから中心市街地へアクセスしやすい道路整備が図られた。 ・上田城跡公園前修景事業により街なか観光の推進が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・無電柱化事業により、一定程度の安全・安心な街なか環境整備が図られたが、一部分の整備であるため引き続き整備を進める必要がある。 ・上田城跡公園北駐車場及び新参町線無電柱化事業の整備により、上田城跡公園から中心商店街までの回遊性の向上を図る。 ・今後、街なみ環境整備事業や民間開発による海野町地区の分譲マンション建設によって、集客拠点や生活拠点の整備が推進することから、より一層のまちなかの賑わい創出を図る必要がある。 ・歩行者通行量に関する調査は、経過観察していくことが重要であることから、現状と同頻度で実施していく。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	上田市・上田商工会議所で行う通行量調査による	
	最終目標値	23100人/日
	最終実績値	18474人/日
2	住民基本台帳から算出する	
	最終目標値	7210人
	最終実績値	6894人

社会資本総合整備計画（参考図面）

計画の名称	1 賑わいのある中心市街地の再生と、歴史を感じるまちづくり	交付対象	上田市
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）		

